特定非営利活動法人定款変更認証申請書

鳥取県日野総合事務所長 山根 淳史 様

特定非営利活動促進法第25条第3項の規定により、当法人の定款を変更することについて認証を受けたいので、下記のとおり申請します。

平成24年10月18日

郵便番号 689-5665
住 所 鳥取県日野郡日南町下石見 1843-1
申請者 名 称 NPO 法人フォレストアカデミージャパン
代表者の氏名 理事長 矢田治美
電話番号 0859-82-1788

記

1 変更の内容

別添新旧対照表による

2 変更の理由

第2条

活動のための事務室が手狭となり、事務所移転したこと

第23条

NPO法の改正に伴う字句の変更。

第29条、第37条

NPO法の改正に伴い「みなし決議」の適用できることとなり、その方法として「書面表決」以外に「電磁的方法」による意思表示することが出来ることとなったため。

第30条、第38条

NPO法の改正に伴う「みなし決議」による同意を行った場合の議事録作成のため。

第42条

NPO法の改正に伴う字句の変更。

第46条

NPO法の改正に伴う字句の変更。

第49条

NPO法の改正に伴う定款変更時の軽微な変更を追加。

3 変更予定年月日

鳥取県知事の認証を受けた日

定款変更新旧対照表

条	新	旧	備考
第2条	この法人は、主たる事務所を鳥取県日野郡日南町生山 423 番地 2 に置く。	この法人は、主たる事務所を鳥取県日野郡日南町下石見 1843 番地 1 に置く。	
第23条	総会は、以下の事項について議決する。 (4) 事業計画及び 活動予算 並びにその変更 (5) 事業報告及び 活動計算	総会は、以下の事項について議決する。 (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更 (5) 事業報告及び収支決算	
第29条	2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面または 電磁的方法 をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。	2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。	
第30条	3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的方法により同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。 (1) 社員総会の決議があったものとみなされた事項の内容 (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称 (3) 社員総会の決議があったものとみなされた日 (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名		追加
第37条	2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面または 電磁的方法 をもって表決することができる。	2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。	
第38条	3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的方法により同意の意思表示を		追加

	<p>したことにより、総会の決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 社員総会の決議があったものとみなされた事項の内容</p> <p>(2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称</p> <p>(3) 社員総会の決議があったものとみなされた日</p> <p>(4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名</p>		
第42条	<p>この法人の事業計画及びこれに伴う活動予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。</p>	<p>この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。</p>	
第46条	<p>この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。</p>	<p>この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。</p>	
第49条	<p>この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する以下の事項を変更する場合所轄庁の認証を得なければならない。</p> <p>(1) 目的</p> <p>(2) 名称</p> <p>(3) その行う特定非営利活動の種類及び当該特定非営利活動に係る事業の種類</p> <p>(4) 主たる事務所及びその他の事務所の所在地（所轄庁の変更を伴うものに限る）</p> <p>(5) 社員の特喪に関する事項</p> <p>(6) 役員に関する事項（役員</p>	<p>この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する以下の事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。</p> <p>(1) 主たる事務所及び従たる事務所の所在地（所轄庁の変更を伴わないもの）</p> <p>(2) 資産に関する事項</p> <p>(3) 公告の方法</p>	

	定数に関する事項を除く) (7) 会議に関する事項 (8) その他の事業を行う場合における、その種類その当該その他の事業に関する事項 9) 解散に関する事項 (残余財産の帰属すべき事項に限る) 10) 定款の変更に関する事項		
--	--	--	--

注

- 1 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 2 所轄庁の変更を伴う定款変更の場合には、変更前の所轄庁を経由して変更後の所轄庁に提出すること。

添付書類

- 1 定款の変更を議決した社員総会の議事録の謄本
- 2 変更後の定款
- 3 定款の変更が特定非営利活動促進法（以下「法」という。）第11条第1項第3号又は第11号に掲げる事項に係る変更を含むものであるときは、当該定款の変更の日の属する事業年度及び翌事業年度の事業計画書及び活動予算書
- 4 定款の変更前後の記載事項の変更箇所を明らかにした新旧対照表
- 5 所轄庁の変更を伴う定款変更の場合には、次の書類
 - (1) 役員名簿（役員の氏名及び住所又は居所並びに各役員についての報酬の有無を記載した名簿をいう。）
 - (2) 法第2条第2項第2号及び法第12条第1項第3号に該当することを確認したことを示す書面
 - (3) 直近の法第28条第1項に規定する事業報告書等（設立後当該書類が作成されるまでの間は法第10条第1項第7号の事業計画書、同項第8号の活動予算書及び法第14条の財産目録、合併後当該書類が作成されるまでの間は法第34条第5項において準用する法第10条第1項第7号の事業計画書、同項第8号の活動予算書及び法第35条第1項の財産目録）

平成24年度事業計画（24年3月～25年2月）

昨年度は、原木供給量が9万立方メートルを超え、林業が日南町の主たる産業として確たることとなった。

また、高性能林業作業機械の導入や林業後継者も新たに充実されてきている。

マスコミにおいても、森林をとりまく記事、林業の再生に関する記事も取り上げられてきている。

そのなかで、実質活動3年目を迎えた当NPOの事業についても、引き続き多方面に展開し、日野川流域の森林環境保全・育成、利用・活用にむけた活動を発展させる。

そのため、事業量・事務量への対策として、職員2名体制として、組織の充実を図る。

主な事業計画

継続事業

林業後継者等支援事業、職能開発等支援事業、循環型林業支援事業、
研究・開発支援事業

所有者不在村の森林管理制度構築

新しい公共の場づくりのためのモデル事業（鳥取県）

林地集約化研究会、不在村山林所有者への情報発信など

妖怪の杜構想推進事業

森林作業体験事業（緑の募金公募事業）

町有林を利用させていただき、植林作業

妖怪の杜ツリーハウスセミナー等森林における学習

妖怪の杜交流事業（森林の力体験事業）

都市部住民との交流、川上川下交流

日野川流域林業まつり・森林学講座

森林塾・ワークショップ

セミナー、講演会等において、当地域の森林林業への取り組み状況を発表
専門誌・地方紙などを通じ、地域の森林林業によるまちづくりへの取り組みを発表・PR

新規事業

日野川流域林業活性化センター事務受託
(緑の産業再生プロジェクト事務局
→特定非営利活動以外の「その他事業」)

地域再生計画の検証 (TORC 自主事業への協力)
単板積層材製造工場の立地が地域に及ぼす効果

絵本プロジェクト

森林にまつわる、地域で言い伝えられてきている物語などを、絵本として残す。
関係団体等によるプロジェクトチームを構成し検討・企画・実施する。

組織の充実

事務局長：副理事長が実質対応

事務局職員 2 名を採用

NPO 管理事務、緑プロ事務、その他事業の企画から実施
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業、緑の産業再生基金事業を活用し財源対応)

新規追加事業について

事業名	鳥取県農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業
交付元	(財)食品流通構造改善促進機構 (農林水産省)
金額	国費 9,671 千円 (全体 10,067 千円)
予算年度	平成 23 年度補正予算
応募	平成 24 年 5 月 17 日
実施者選定結果通知	平成 24 年 7 月 2 日
実施計画承認	平成 24 年 8 月 16 日
交付決定	平成 24 年 8 月 20 日
入札日時 (総合評価制度による一般競争入札)	平成 24 年 9 月 5 日
契約先	(株)森のエネルギー研究所
業務内容	鳥取県内を対象として、太陽光、風力、水力、バイオマスの発電適地としてのポテンシャルを調査検討。 平成 27 年度頃に事業化できる見込みの箇所を選定する。
進捗状況	平成 24 年 9 月 18 日に県副知事ほか関係部課長に協力の依頼 平成 24 年 10 月 10 日に検討会を開催予定 (業務に対するアドバイス・情報提供・意見交換の場)

平成24年度活動計算書

平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで

単位:円

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	150,000		150,000
2 受取寄付金			
受取寄付金	300,000		300,000
3 受取助成金等			
受取民間助成金	3,611,930		3,611,930
受取国庫等補助金	4,862,960		4,862,960
4 事業収益			
妖怪の杜構想推進事業	26,000		26,000
妖怪の杜ツリーハウス講習会	40,000		40,000
妖怪の杜交流事業	40,000		40,000
林業まつり	13,259		13,259
広報活動事業	100,000		100,000
共生の森事務受託		60,000	60,000
緑プロ事務受託事業		1,047,431	1,047,431
5 その他収益			
受取利息	1,441		1,441
雑収益			0
経常収益計	9,145,590	1,107,431	10,253,021
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	2,391,000	427,026	2,818,026
法定福利費	250,000	84,605	334,605
福利厚生費			0
人件費計	2,641,000	511,631	3,152,631
(2) その他経費			
助成費	600,000		600,000
委託費	522,187	200,000	722,187
謝金	889,000	48,000	937,000
印刷製本費	823,611		823,611

旅費交通費	239,460	33,000	272,460
通信運搬費	339,680	30,000	369,680
原材料購入	146,160		146,160
食糧費	194,580		194,580
消耗品費	387,305	40,000	427,305
使用料	136,000	190,800	326,800
雑費	48,472	54,000	102,472
その他経費計	4,326,455	595,800	4,922,255
事業費計	6,967,455	1,107,431	8,074,886
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	100,000		100,000
給料手当	1,462,811		1,462,811
法定福利費	197,412		197,412
福利厚生費			
人件費計	1,760,223		1,760,223
(2) その他経費			
印刷製本費	161,764		161,764
旅費交通費	52,000		52,000
通信運搬費	55,000		55,000
消耗品費	162,204		162,204
水光熱費	14,000		14,000
燃料費	121,000		121,000
使用料	257,467		257,467
雑費	193,220		193,220
その他経費計	924,451		924,451
管理費計	2,684,674		2,684,674
経常費用計	9,652,129	1,107,431	10,759,560
当期経常増減額			0
経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計			
経常外費用			
1 過年度損益修正損			
経常外費用計			
経理区分振替額			
当期正味財産増減額			-506,539
前期繰越正味財産額			506,539
次期繰越正味財産額			0

平成25年度事業計画書

(25年3月～26年2月)

森林林業を取り巻く状況は、近年著しく好調である。また、地域内の原木取扱量は増大しており、高性能林業作業機械の導入や林業後継者も新たに充実されてきている。

マスコミにおいても、森林をとりまく記事、林業の再生に関する記事も取り上げられてきている。

そのなかで、実質活動4年目を迎えた当NPOの事業についても、引き続き多方面に展開し、日野川流域の森林環境保全・育成、利用・活用にむけた活動を発展させる。

主な事業計画

継続事業

林業後継者等支援事業、職能開発等支援事業、循環型林業支援事業、
研究・開発支援事業

所有者不在村の森林対策への課題研究

林地集約化研究会、不在村山林所有者への情報発信など

妖怪の杜構想推進事業

森林作業体験事業

公有林を利用させていただき、植林作業・枝打ち作業など行う
ことで、川上・川下交流と都市部住民と地域住民の交流を図る

妖怪の杜ツリーハウスセミナー等

森林に入り学習することで森林の大切さなどを学習する機会を設
ける

妖怪の杜交流事業（森林の力体験事業）

都市部住民の森林への触れ合いを通じ、住民交流、川上川下交流
をはかる

日野川流域林業まつり・森林学講座

森林塾・ワークショップ

セミナー、講演会等において、当地域の森林林業への取り組み状況を発表

専門誌・地方紙などを通じ、地域の森林林業によるまちづくりへの取り組み
を発表・PR

日野川流域林業活性化センター事務受託

(緑の産業再生プロジェクト事務局)

絵本プロジェクト

森林にまつわる、地域で言い伝えられてきている物語などを、絵本とし

て残す。

関係団体等によるプロジェクトチームを構成し検討・企画・実施する。

団体名称	NPO法人フォレストアカデミージャパン		
平成25年度収支計算書			
	平成25年3月1日から	平成26年2月28日まで	単位:円
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	200,000	200,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	
3 受取助成金等			
受取民間助成金	3,500,000		
受取国庫等補助金	5,000,000	8,500,000	
4 事業収益			
妖怪の杜構想推進事業	50,000		
妖怪の杜ツリーハウス講習会	50,000		
妖怪の杜交流事業	50,000	150,000	
5 その他収益			
受取利息	2,000		
雑収入		2,000	
経常収益計			8,852,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	2,600,000		
法定福利費	520,000		
人件費計	3,120,000		
(2) その他経費			
助成費	600,000		
印刷製本費	800,000		
旅費交通費	274,000		
通信運搬費	304,000		
消耗品費	640,000		
使用料	501,000		
雑費	1,300,000		
その他経費計	4,419,000		
事業費計		7,539,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	320,000		
法定福利費			
人件費計	320,000		
(2) その他経費			
印刷製本費	70,000		
旅費交通費	52,000		
通信運搬費	55,000		
消耗品費	150,000		
備品購入費	150,000		
使用料	156,000		
雑費	360,000		
その他経費計	993,000		
管理費計		1,313,000	
経常費用計			8,852,000
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産			506,539
次期繰越正味財産			506,539